

青年部



青年部 副部長 守屋 健作

今年度は、役員改選の年であり、4月より中島代表を中心に「常に前向きに考え挑戦していく事」をモットーに青年部活動を始動しております。

新たな挑戦の第一弾として第14回ばら祭りに出店してみました。

2週間の長丁場でした。今までのイベントでは町内の皆様がお客様であり、顔見知りが多い中での物販でしたが今回は町外、県外のお客様も多く、青年部を知らないお客様に物を買っていただく貴重な経験ができました。

一昨年からは始めているホームページにはばら祭りに来られた遠方の方からもブログに多くのコメントが入ってくるなど、成果を挙げており現在77000ヒットを達成しております。今後ま



すます充実したホームページを目指していきます。

各事業の担当委員長も新しくなり、イベントごと前向きな挑戦をしていきます。坂城どんどんでは、お菓子のつかみ取りやスイカ割りなど新しいイベントを行ってみました。スイカ割りは予想以上に夏祭りの雰囲気盛り上げてくれました。どしゃぶりの雨でどうなるかと思つたどんどんも無事終了できました。

これからは年末チャリティーに向け準備が進んでいきます。チャリティーの収益金は毎年坂城町の小中学校や各種団体に寄贈しています。第37回年末チャリティーの収益金は南条小学校に寄贈しました。名入れだるまや、坂城神社での皆様

方のご協力に感謝申し上げます。12月31日には坂城神社で前向きな挑戦をしている青年部員を見に足を運んでみて下さい。ほかに12月に行われる長野朝日放送の

ふるさとCM大賞にも応募いたしました。内容は坂城町の産業をアピールする作品になっております。今後とも親会をはじめ町民の皆様のご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

女性部



女性部 副部長 西沢 美恵子

七月に軽井沢で商工会女性部関東ブロック交流研修会が開催されました。11都県から1500人以上もの参加者が集まる中、それぞれの商工会女性部の活動についての発表と講演会がありました。

講演会では、伊那食品工業(株)の塚越寛氏から「いい店いい街」と題してのお話を聞くことができました。きれいな処へ人は集まる！とのこと。社員自ら社内の整理整頓、トイレ、会社周囲の清掃なども行い、年間30万人の人が訪れているそうです。厳しい道のりを

— おねがい —
青年部では一緒に町を盛り上げていく新入部員を募集中です。



講演される塚越寛氏

いつも一緒に苦労している社員が会社の業績だけでなく、働きがい、生きがいを感じる必要があると考えられています。企業の真の目的は、社員の幸福であり、社員を通じて社会に貢献することであるという考えから信じ合う関係が生まれ、社員は皆輝いているのでしょうね。いろいろな心に残るお話が聞かれて有意義な時間を過ごすことができました。

編集後記

第三十二回坂城どんどんも楽しかった。通り雨にやや邪魔されたが参加者の気持ちでそれを吹き飛ばした。翌朝の清掃風景を知らない人は多いかもしれない。早朝から役場職員、ライオンズクラブの皆様、商工会職員、役員、(商店街)にざわい坂城の皆さんも加わつての「祭りのあと」はゴミの片付け、いや、資源の分別作業というべきか。

「ゴミを出さない祭り」の提案はないのだろうか。現場に食器洗い機を導入するとかえって排水が出るのだろうか。考えは迷走するが、とにかくトイレやお酒おつまみを自主的に提供してくれた立町、横町の皆様へ感謝。(関戸)

広報編集委員会

- 委員長 関戸 啓司
- 副委員長 入部 和夫
- 委員 池田 尚弘
- 佐藤 洋子
- 中島 新一
- 滝澤 洋子
- 宮下 智彦